

市民ワークショップ 第2回 ～これからの公共施設のあり方を考えよう～

検討結果のまとめ

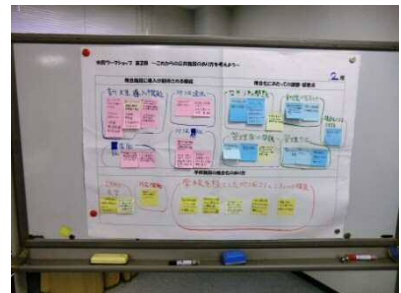
- **開催日** 平成26年10月24日（金） 10時～12時
- **出席者** 14名
- **検討内容** 検討テーマ：学校施設の複合化
 - ・導入が期待される機能や複合化にあたっての課題
 - ・学校施設の複合化のあり方

■ 当日の様子

<1班>



<2班>



<3班>



検討結果のまとめ【全体：主な意見】

■複合施設に導入が期待される機能

- 地域交流機能
（公民館、交流センター、多目的ホールなど）
- 多世代交流機能
（児童センター、学童保育、高齢者福祉施設、障害者との交流など）
- 児童減少に伴う学校の統合
- 既存の諸室の活用
（調理室、談話室、図書室、生涯学習室など）
- 文化機能
（ギャラリー、郷土・歴史資料館、文化会館など）

■複合化にあたっての課題・留意点

- セキュリティ面
（入館管理、動線・利用時間の区分、駐車場の管理・安全性など）
- アクセス面
（通学や利用者範囲が広がることへの対応、駐車場の確保など）
- 利用面
（利用料金の有無、受益者負担、防音対策、利用者のモラルなど）
- バリアフリー対応
（トイレ・手摺の改修など）

■学校施設の複合化のあり方

- 学校を核とした地域コミュニティの構築
（地域の財産である学校を地域コミュニティの拠点として活用）
- 多世代交流・生涯学習の場として活用
（地域の多世代交流の拠点として活用、児童・生徒と利用者との交流）
- 地域の防災拠点として活用
（避難所としての機能確保）
- 学校としての機能確保
（学校機能の確保を優先する）
- セキュリティの確保
（入口や動線の区分、受付などでの入館管理）
- 統合後の未利用地の活用
（複合化により統合された施設・土地の売却など）
- 管理運営の効率化
（各種組織の協力による運営委員会の設置、シルバー人材センターの活用など）

検討結果のまとめ <1班>

複合施設に導入が期待される機能	複合化にあたっての課題・留意点
<p><学校の統合></p> <ul style="list-style-type: none"> 児童減少に伴う学校の統合。 <p><多目的な機能></p> <ul style="list-style-type: none"> カラオケ、ストレッチ、小会議室ルームそれぞれ器具等を設備。 多目的ホール30人入れる。仕切りOK。 学校応援団交流ルーム（ボランティア、給食、安全パトロール）。 <p><既存の諸室の活用></p> <ul style="list-style-type: none"> 調理室、談話室、陶芸教室、学校図書館、生涯学習室。 プールなどの一般開放。 夜間休日の開放。 <p><多世代交流></p> <ul style="list-style-type: none"> 子供達とお年寄りが交流できる場所。 学童保育施設が学校内にあればスムーズ。 デイサービス機能、高齢者施設。 児童センター、学童保育、保育園の施設が入った方がいいのではないか。 老人ホームがあれば世代間の交流になる。 小中学校を含めた広域を対象。それに付帯する公共施設を複合化する。相互利用可能。 複合対象機能。最低限として学校（保育）と公民館、図書館、生涯学習機能。 <p><文化機能></p> <ul style="list-style-type: none"> 美術館、博物館機能ギャラリー。 埴保己ルーム。 はにぼんルーム。 複合対象機能拡大、市民文化館、保健、医療。 	<p><セキュリティ面></p> <ul style="list-style-type: none"> セキュリティ区分が課題。 不審者が容易に侵入してしまう。セキュリティの問題。 児童を含む入館者の安全確保の他、混雑するリスクの解消。 公民館などが入ると色々な人が出入りするの安全性で不安。 小中学生は歩きか自転車なので、大人が出入りすると車が入ってきて危ないのではないか。 <p><縦割りの改善></p> <ul style="list-style-type: none"> 労働省と文科省の問題（管理区分、所管の相違）。 <p><アクセスの確保></p> <ul style="list-style-type: none"> 住居からの距離4km以内。 無料化。 施設から離れた市民に弱者を救済する制度。 <p><利用面（料金など）></p> <ul style="list-style-type: none"> 施設利用料の有無。 学校教育を除き原則受益者負担。 近所の騒音を考え防音室を。
<h3>今後のあり方</h3>	
<p><多世代交流・生涯学習></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の多世代交流の拠点となるべき共学共助。 生涯学習という視点で考える。 文化的水準を上げる役割を担うもの。 <p><統合後の未利用地の活用></p> <ul style="list-style-type: none"> 統廃合された後の残された施設土地及び未利用宅地の処分（売却、等価交換）。 →財政改善（5年を目安に）。 <p><セキュリティの確保></p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒入口と公民館などの利用者の入口を分ける。 棟などで鍵をできるようにする。 利用証の発行、電車の定期のような。 	<p><市民ニーズ地域ニーズの反映></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民（利用者）目線を第一優先とし、資金調達（財政）は最大限の工夫をこらす。 利用者はある程度地域限定を基本とする。 ※空いている時のみ他地域も。 <p><管理運営の効率化></p> <ul style="list-style-type: none"> ハード面以上に施設を運営するノウハウに配慮する。 各種組織の協力（運営委員会の設置）。 管理者が必要となる。シルバー人材センターを利用。 利用者は格安に利用できる。（本庄は高いと思われる程度） <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> せっかく複合施設にするのであれば日本で初めての試みをやる。前例のないものにチャレンジ。

検討結果のまとめ <2班>

複合施設に導入が期待される機能	複合化にあたっての課題・留意点
<p><新規導入機能></p> <ul style="list-style-type: none"> • 広いスペースでの活動ができる。 • 文化センター、交流センター、図書館。 • 郷土資料館、歴史資料館。 • 老人ホームと保育園・幼稚園・学童保育の併設。 • 幼稚園、保育園、公民館（集会所）、コミュニティセンター。 • これからは少子化になっていきますので小中学校の複合化は必要だと思います。 • 小中学校を近づけることで、施設を互いに利用出来る。 <p><設備面></p> <ul style="list-style-type: none"> • 公民館も入れる事で老人会の人達も使いやすくなると思いますのでバリアフリー化。 • バリアフリー化により障害者も一般の小学校に通えるようになる。 <p><地域関係></p> <ul style="list-style-type: none"> • 市民の目が学校に向く。 • 地域の交流の中で文化が身につく、お茶、琴、諸々。 <p><地域開放></p> <ul style="list-style-type: none"> • 調理室を地域住民や団体が使えるようできたらよい。 • 地域で働く人の為に学童保育ができれば。 • 空き部屋で高齢者のサロンの集いの出来る場所。 	<p><セキュリティ問題></p> <ul style="list-style-type: none"> • セキュリティ面の充実。 • 安全が課題。 • 大勢の人が学校利用することでセキュリティが大変なこと。 • 利用者は集中して来るとお思いますので駐車場に気を配る。 <p><管理方法></p> <ul style="list-style-type: none"> • 新管理システムの構築。 • 貸出システムの工夫（IT化）。 <p><動線の区別></p> <ul style="list-style-type: none"> • 学生に邪魔にならないよう公民館の部分は何らかの教室で間仕切りしてはどうか。 • 児童と一般利用者との動線区別。 <p><複合化による課題></p> <ul style="list-style-type: none"> • 通学が遠くなる。
<p>今後のあり方</p>	
<p><長期的展望></p> <ul style="list-style-type: none"> • 人口動向を踏まえ長期的展望を待って計画する（施設の過不足）。 • 地域との交流で場所の使い方、利用の仕方に課題があるがメリットが多い。 <p><防災機能></p> <ul style="list-style-type: none"> • 避難所としての機能を確保（バリアフリー）。 	<p><学校を核とした地域コミュニティの構築></p> <ul style="list-style-type: none"> • 学校を「地域の財産」としてとらえ地域のコミュニティの中心的施設とする。 • 地域住民同志が顔を合わせる機会が多くなる機能を備え、地域コミュニティの活性化を図る（協力・安全）。 • 子供達が少ない中3世代の関わりで家族の様に出来たらいいと思います。 • 地域の愛着を深め「地域の子供は地域で育てる」というコンセンサスを醸成させる。 • 利用者と生徒と必ず接点を持つ（授業の一つとして取り入れる）。

検討結果のまとめ <3班>

複合施設に導入が期待される機能	複合化にあたっての課題・留意点
<p><学童保育の機能></p> <ul style="list-style-type: none"> 児童センター。 放課後の児童の安全で学習と遊びの施設が確保できる。(学童保育) 学童の遊び場(児童センター)。 <p><地域との交流機能></p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館・交流センター・食育。 公民館地域の大人が学校に入る事により複数の目で安全を守れる。 地域の人との交流。 地域コミュニティ(交流センター)。 給食と合せて家族のような交流とし料理教室ができる様な機能で非常時の炊出しにもなる。食育。 公民館の中に災害時における炊事が出来る機能が必要になるのではないか。 <p><防災機能></p> <ul style="list-style-type: none"> 倉庫。 防災(備蓄倉庫)。 <p><高齢者との交流の場></p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者と共に学ぶ。 高齢者の学習教室を開催する。 老人、幼児(サロン) 防災教育の場。 授業の成果として子供達の前で発表する。 戦争体験などを子供の前で。 <p><障がい者との交流></p> <ul style="list-style-type: none"> 核家族化により、お年寄りとの関わりが少ない中、その関わりが出来る場としての機能を持つホール等。 障害者の方の集える場所にする。 	<p><セキュリティ面></p> <ul style="list-style-type: none"> カギの管理。 受付が必要か。 一般の人が入るので保安面が守れる。 鍵の開閉とその責任。 受付。一般開放した場合に責任をもつ管理人をおく。 <p><モラル></p> <ul style="list-style-type: none"> モラルを持った利用。 共用利用の場合の管理。 利用者のモラル。 子供の貧困化の問題の中、子供との共存できるか。 <p><バリアフリー化></p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者と交流するには必要。 バリアフリー化必要、トイレ、手摺など改修。 <p><駐車場の大きさ></p> <ul style="list-style-type: none"> 利用に対応した大きさの確保。 駐車場の確保。 駐車場、夜間利用、大きくしないと。 <p><利用時間></p> <ul style="list-style-type: none"> 管理側の負担を考えた時間の設定。 学校との境界と時間の決定。
<h3>今後のあり方</h3>	
<p><学校機能が優先></p> <ul style="list-style-type: none"> まず学校の機能・目的を優先すべき。 複合化に惑わされて本来の目的を見失いたくない。 複合化に当って学校の機能は優先にしたい。 学校の先生に負担をかけずに行う交流とする。 <p><学びの場></p> <ul style="list-style-type: none"> 勉強の場、人権教育の場として皆で子供を守っていく。 生徒や高齢者の確保(地域交流)。 保護者の成長の場としても皆で支えていく。 <p><セキュリティの確保></p> <ul style="list-style-type: none"> 受付でのチェック、情報板の設置。 入る時に受付チェック。 いつ誰が校内に入っているかが一目でわかる電光掲示板のようなものがあるとよい。 	<p><地域の防災拠点></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校から地域に発信できる放送設備の設置。 学校の中に防災に関する物を入れると地域に広報でき関心が高まる(省エネ等)。 <p><公民館の機能></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校と公民館が隣接の場合など駐車場の共用(借地)。 公民館の耐用年数を考えると学校の中に一部入れる事(例:会議室)。 <p><利用者ニーズを踏まえて施設規模を設定></p> <ul style="list-style-type: none"> 建替ありきの考えは今後の使用に問題があるのか。中身の新しい施設がほしいのか、耐震補強ではだめなのか。 <p><十分な検討を行った上での複合化></p> <ul style="list-style-type: none"> 複合化は果たして合理的な方法なのか、使用にあたっては新しい効果があるのか。

